



1. 文化祭を行います。

10月3日(金)に<Let's enjoy our school festival! It makes us smile> を目標に文化祭を実施します。体育館では、1・2年生が各クラスの合唱と学年合唱、3年生は各クラスが演劇を発表します。また、管理棟では、1・2・3年生の総合的な学習の取組、美術科・美術部の作品、華道部の生け花を展示します。文化祭は、日頃の教育活動の発表の場であります。これまで、文化祭実行委員のみなさんが中心となって、教職員と共に協力し準備してまいりました。是非、ご来校いただき、子どもたちの様子や頑張りを間近でご覧いただき、各ご家庭において、その頑張りを認めていただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

2. 枚方市の不登校生徒は増加傾向にあります。

枚方市には、学校以外にも、「学校に行きづらい…」と感じている不登校生徒のための学習や相談できる場所、保護者の方を支援する機関など、心のエネルギーを充電できる居場所があります。

① 登校していないが外出したい場合

公的な支援である教育支援センター「ルポ」【登室】、民間による支援であるフルースクール

② 登校していないが外出したくない場合

対面による支援である教育支援センター「ルポ」【訪問指導】、オンラインによる支援である教育支援センター【メタバース登室】

「学校に登校する」という結果のみを目標にせず、子どもの思いや願いを大切にして、社会的に自立できるように支援しましょう。

3. 凡事徹底

先日、ダイヤモンド社の『92歳総務課長の教え』を読んだところ、その中に、「凡事徹底、なかでも掃除を重視」といった項目がありました。当たり前のことを徹底的にやることを「凡事徹底」というそうです。「挨拶をする」、「決められた時間を守る」、「身だしなみを整える」など、当たり前のことはたくさんありますが、著者である玉置泰子さんが、特に大事にしていることは、「掃除」だそうです。「掃除」をすることで整理整頓ができる。整理整頓により、必要なものが一目瞭然になっていれば、頭の回転は早くなり、仕事の効率も上がる。デスクやパソコンの状態は、それを使う人の中身に影響を与えるといわれているとのこと。

日本の多くの学校では清掃の時間が設けられており、教師や子どもたちが何の疑いもなく教室や廊下、トイレの掃除を一生懸命にしていると思います。しかし、海外の学校では、掃除は専門のサービススタッフに任せることが多く、海外の人からは、子どもたちが進んで「掃除」をする習慣は珍しく思われるようです。「掃除」を自分たちですることにより、子どもたちの自主性を育むことができ、教室のみならず、校舎内を整理整頓することで学習環境が整い、効率的な学習に結びつくのではないのでしょうか。「挨拶をする」、「決められた時間を守る」、「身だしなみを整える」も含めて「凡事徹底」を心がけ、秩序ある学校づくりに取り組みたいと思いました。

<参考文献 玉置 泰子著、『92歳総務課長の教え』ダイヤモンド社>